

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
日本事情 I		日本語学科 1年/1年	2019/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(20時間)	必須	村上 昭範

授業の概要

本科目では、日本で生活する上で必要となるルールや習慣について、動画やイラスト、読み物を使いながら、理解を深める。

授業終了時の到達目標

留学生活において、戸惑うことなく生活できるよう、基本的なルールや習慣について身に付ける。

回	テーマ	内容
1	高松について 1	周辺施設の利用方法
2	高松について 2	住所を覚える
3	日本の家に住む 1	寮の使用方法 騒音について
4	日本の家に住む 2	ゴミの収集方法
5	日本での生活について 1	日本での滞在や在留カードについて
6	日本での生活について 2	日本の法律について
7	自転車の乗り方	自転車の乗り方
8	日本語の学習について 1	学校でのルール
9	日本語の学習について 2	卒業後の進路
10	国民健康保険 1	加入について
11	国民健康保険 2	保険料助成申し込みについて
12	アルバイト 1	資格外活動許可について
13	アルバイト 2	履歴書の書き方
14	アルバイト 3	アルバイト先で使う日本語
15	銀行 1	口座の開設

回	テ ー マ	内 容		
16	銀行 2	A T Mの使い方		
17	郵便局	手紙や荷物の送り方 不在連絡票		
18	レストラン	注文と支払い		
19	乗り物の乗り方 1	電車		
20	乗り物の乗り方 2	バス		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『話そう考えよう初級日本事情』（スリー エーネットワーク）など		日本事情	100.0%	わからない言葉は 家で調べておくこ と。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
読解 I		日本語学科 1年/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(40時間)	必須	村上 昭範

授業の概要

本科目では、基本的な初級文型の学習に合わせ、既習した文型を用いた文を読んで理解する。また、初級レベルの語彙や文型で書かれた文学作品に触れる。

授業終了時の到達目標

財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N4合格をめざす。

回	テーマ	内容
1	名詞文	『みんなの日本語』 1課～3課を中心とした読解
2	動詞文(ます形)	『みんなの日本語』 4課～7課を中心とした読解
3	形容詞文 理由「から」	『みんなの日本語』 8課～9課を中心とした読解
4	存在文・所在文 助数詞	『みんなの日本語』 10課～11課を中心とした読解
5	過去時制 比較文 「たいへん」「ほしーい」	『みんなの日本語』 12課～13課を中心とした読解
6	動詞文(て形)	『みんなの日本語』 14課～16課を中心とした読解
7	動詞文(ない形)	『みんなの日本語』 17課を中心とした読解
8	動詞文(辞書形)	『みんなの日本語』 18課を中心とした読解
9	動詞文(た形)	『みんなの日本語』 19課を中心とした読解
10	動詞文(普通形)	『みんなの日本語』 20課～22課を中心とした読解
11	文の接続 1	『みんなの日本語』 23課～25課を中心とした読解
12	形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞)	『みんなの日本語』 26課～28課を中心とした読解
13	自動詞・他動詞	『みんなの日本語』 29課～30課を中心とした読解
14	動詞文(意向形) 推量表現	『みんなの日本語』 31課～32課を中心とした読解
15	動詞文(命令形・禁止形) 文の接続 2	『みんなの日本語』 33課～35課を中心とした読解

回	テ ー マ	内 容		
16	目標 動詞文（受身形） 形名各詞「の」	『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした読解		
17	文の接続3 授受	『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした読解		
18	目的 様態 接続	『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした読解		
19	伝聞 動詞文（使役形・使役受身形）	『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした読解		
20	敬語	『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした読解		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『みんなの日本語 初級で読めるトピック 25』（スリーエーネットワーク）		読解	100.0%	わからない言葉は 家で調べておくこ と。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文章表現 I		日本語学科 1年/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(40時間)	必須	業天 規根子

授業の概要

本科目では、日本語の基本的な文型を用いて、短文を作ったり、トピックに合わせて、モデル文を見ながら自分のことについて記述できる能力を養成する。

授業終了時の到達目標

日本語の基本文型や語彙を用いて、自分のことについて記述できるようになる。

回	テーマ	内容
1	名詞文	『みんなの日本語』 1課～3課を中心とした表記・作文 テーマ「自己紹介」
2	動詞文(ます形)	『みんなの日本語』 4課～7課を中心とした表記・作文
3	形容詞文 理由「から」	『みんなの日本語』 8課～9課を中心とした表記・作文
4	存在文・所在文 助数詞	『みんなの日本語』 10課～11課を中心とした表記・作文 テーマ「私の部屋」
5	過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」	『みんなの日本語』 12課～13課を中心とした表記・作文 テーマ「私の国・町」
6	動詞文(て形)	『みんなの日本語』 14課～16課を中心とした表記・作文 テーマ「私の家族」
7	動詞文(ない形)	『みんなの日本語』 17課を中心とした表記・作文
8	動詞文(辞書形)	『みんなの日本語』 18課を中心とした表記・作文
9	動詞文(た形)	『みんなの日本語』 19課を中心とした表記・作文
10	動詞文(普通形)	『みんなの日本語』 20課～22課を中心とした表記・作文
11	文の接続 1	『みんなの日本語』 23課～25課を中心とした表記・作文 テーマ「プレゼント」
12	形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞)	『みんなの日本語』 26課～28課を中心とした表記・作文
13	自動詞・他動詞	『みんなの日本語』 29課～30課を中心とした表記・作文
14	動詞文(意向形) 推量表現	『みんなの日本語』 31課～32課を中心とした表記・作文 テーマ「もし私が二人いたら」
15	動詞文(命令形・禁止形) 文の接続 2	『みんなの日本語』 33課～35課を中心とした表記・作文 テーマ「趣味」

回	テ ー マ	内 容		
16	目標 動詞文（受身形） 形式名詞「の」	『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした表記・作文		
17	文の接続3 授受	『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした表記・作文 テーマ「日本でびっくりしたこと」		
18	目的 様態 逆接	『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした表記・作文		
19	伝聞 動詞文（使役形・使役受身形）	『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした表記・作文 テーマ「隣の人にひとこと」		
20	敬語	『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした表記・作文		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『みんなの日本語 文型練習帳』（スリー エーネットワーク） 『みんなの日本語 やさしい作文』（ス リーエーネットワーク）		文章表現	100.0%	わからない言葉は 家で調べておくこ と。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
口頭表現 I		日本語学科 1年/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(60時間)	必須	清水 早智
授業の概要				
<p>本科目では、日本語の単音の発音や単語のアクセント、短文のイントネーションなど口頭技能の基本的なスキルに加え、日常生活の中で出会う場面を中心とした会話能力を養成する。</p>				
授業終了時の到達目標				
日本語の基本文型を用いて、日常生活でよく出会う場面のやりとりができるようになる。				
回	テーマ	内容		
1	名詞文	『みんなの日本語』 1課～3課を中心とした会話		
2	動詞文(ます形)	『みんなの日本語』 4課～7課を中心とした会話		
3	形容詞文 理由「から」	『みんなの日本語』 8課～9課を中心とした会話		
4	存在文・所在文 助数詞	『みんなの日本語』 10課～11課を中心とした会話		
5	過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」	『みんなの日本語』 12課～13課を中心とした会話		
6	動詞文(て形)	『みんなの日本語』 14課～16課を中心とした会話		
7	動詞文(ない形)	『みんなの日本語』 17課を中心とした会話		
8	動詞文(辞書形)	『みんなの日本語』 18課を中心とした会話		
9	動詞文(た形)	『みんなの日本語』 19課を中心とした会話		
10	動詞文(普通形)	『みんなの日本語』 20課～22課を中心とした会話		
11	文の接続 1	『みんなの日本語』 23課～25課を中心とした会話		
12	形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞)	『みんなの日本語』 26課～28課を中心とした会話		
13	自動詞・他動詞	『みんなの日本語』 29課～30課を中心とした会話		
14	動詞文(意向形) 推量表現	『みんなの日本語』 31課～32課を中心とした会話		
15	動詞文(命令形・禁止形) 文の接続 2	『みんなの日本語』 33課～35課を中心とした会話		

回	テ ー マ	内 容		
16	目標 動詞文（受身形） 形式名詞「の」	『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした会話		
17	文の接続3 授受	『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした会話		
18	目的 様態 逆接	『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした会話		
19	伝聞 動詞文（使役形・使役受身形）	『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした会話		
20	敬語	『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした会話		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『みんなの日本語Ⅰ』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語Ⅱ』（スリーエーネットワーク）『にほんごおしゃべりのたね』（スリーエーネットワーク）		口頭表現	100.0%	わからない言葉は家で調べておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文字語彙 I		日本語学科 1年/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(80時間)	必須	清水 早智

授業の概要

本科目では、ひらがな、カタカナ、基礎的な漢字約300字を学習する。また、基本文型の学習に合わせ、日常会話で使用頻度の高い語彙約1500語を習得する。

授業終了時の到達目標

ひらがな、カタカナに加え、基礎的な漢字約300字の読み書きができるようになる。
財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N4合格をめざす。

回	テーマ	内容
1	ひらがな・カタカナ	ひらがな・カタカナ
2	名詞文 動詞文(ます形)	『みんなの日本語』1課～7課を中心とした語彙・漢字
3	形容詞文 理由「から」	『みんなの日本語』8課～9課を中心とした語彙・漢字
4	存在文・所在文 助数詞	『みんなの日本語』10課～11課を中心とした語彙・漢字
5	過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」	『みんなの日本語』12課～13課を中心とした語彙・漢字
6	動詞文(て形)	『みんなの日本語』14課～16課を中心とした語彙・漢字
7	動詞文(ない形)	『みんなの日本語』17課を中心とした語彙・漢字
8	動詞文(辞書形)	『みんなの日本語』18課を中心とした語彙・漢字
9	動詞文(た形)	『みんなの日本語』19課を中心とした語彙・漢字
10	動詞文(普通形)	『みんなの日本語』20課～22課を中心とした語彙・漢字
11	文の接続1	『みんなの日本語』23課～25課を中心とした語彙・漢字
12	形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞)	『みんなの日本語』26課～28課を中心とした語彙・漢字
13	自動詞・他動詞	『みんなの日本語』29課～30課を中心とした語彙・漢字
14	動詞文(意向形) 推量表現	『みんなの日本語』31課～32課を中心とした語彙・漢字
15	動詞文(命令形・禁止形) 文の接続2	『みんなの日本語』33課～35課を中心とした語彙・漢字

回	テーマ	内 容		
16	目標 動詞文（受身形） 形式名詞「の」	『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした語彙・漢字		
17	文の接続3 授受	『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした語彙・漢字		
18	目的 様態 逆接	『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした語彙・漢字		
19	伝聞 動詞文（使役形・使役受身形）	『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした語彙・漢字		
20	敬語	『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした語彙・漢字		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『みんなの日本語 漢字Ⅰ』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語 漢字Ⅱ』（スリーエーネットワーク）		文字・語彙	100.0%	わからない言葉は家で調べておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
聴解 I		日本語学科 1年/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(80時間)	必須	清水 早智

授業の概要

本科目では、日本語の音の聞き分け、短文の聞き取り、また教室や身の回りなど日常生活の中で出会う場面を中心とした会話の聞き取りを行い、聴解能力を養成する。

授業終了時の到達目標

日常生活でよく出会う場面で話される会話の内容や情報が聞き取れるようになる。
財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N4合格をめざす。

回	テーマ	内容
1	日本語の音	日本語の音の聞き取り
2	名詞文 動詞文(ます形)	『みんなの日本語』1課～7課を中心とした会話の聞き取り
3	形容詞文 理由「から」	『みんなの日本語』8課～9課を中心とした会話の聞き取り
4	存在文・所在文 助数詞	『みんなの日本語』10課～11課を中心とした会話の聞き取り
5	過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」	『みんなの日本語』12課～13課を中心とした会話の聞き取り
6	動詞文(て形)	『みんなの日本語』14課～16課を中心とした会話の聞き取り
7	動詞文(ない形)	『みんなの日本語』17課を中心とした会話の聞き取り
8	動詞文(辞書形)	『みんなの日本語』18課を中心とした会話の聞き取り
9	動詞文(た形)	『みんなの日本語』19課を中心とした会話の聞き取り
10	動詞文(普通形)	『みんなの日本語』20課～22課を中心とした会話の聞き取り
11	文の接続 1	『みんなの日本語』23課～25課を中心とした会話の聞き取り
12	形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞)	『みんなの日本語』26課～28課を中心とした会話の聞き取り
13	自動詞・他動詞	『みんなの日本語』29課～30課を中心とした会話の聞き取り
14	動詞文(意向形) 推量表現	『みんなの日本語』31課～32課を中心とした会話の聞き取り
15	動詞文(命令形・禁止形) 文の接続 2	『みんなの日本語』33課～35課を中心とした会話の聞き取り

回	テ ー マ	内 容		
16	目標 動詞文（受身形） 形名各詞「の」	『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした会話の聞き取り		
17	文の接続3 授受	『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした会話の聞き取り		
18	目的 様態 送接	『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした会話の聞き取り		
19	伝聞 動詞文（使役形・使役受身形）	『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした会話の聞き取り		
20	敬語	『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした会話の聞き取り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『みんなの日本語 聴解タスクⅠ』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語 聴解タスクⅡ』（スリーエーネットワーク）		聴解	100.0%	わからない言葉は家で調べておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文型・文法 I		日本語学科 1年/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(80時間)	必須	清水 早智

授業の概要

本科目では、日本語の基本的な構造となる文型を学び、文法の基礎を習得する。

授業終了時の到達目標

財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N4合格をめざす。

回	テーマ	内容
1	名詞文	N1はN2です。
2	動詞文(ます形)	NはAです。Vます。 Vませんか(勧誘) あげます/もらいます
3	形容詞文 理由「から」	い形容詞・な形容詞 から、～
4	存在文・所在文 助数詞	います/あります
5	過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」	Vました・Aかったです・ANでした より・いちばん Vたい・Nがほしい
6	動詞文(て形)	Vてください(依頼) Vています(進行・状態) Vてもいいですか(許可) Vてはいけません(禁止) Vて、Vて～・Aくて、～・ANで、～
7	動詞文(ない形)	Vないてください(禁止) Vなければなりません(義務) Vなくてもいいです(許容)
8	動詞文(辞書形)	Vことができます(可能・可能性) NはVことです(形式名詞)
9	動詞文(た形)	Vたほうがいい(忠告) Vたことがある(経験) Vたり、Vたり
10	動詞文(普通形)	会話体 連体修飾 ～と思います・～と言います
11	文の接続1	「とき」「と」「たら」「ても」
12	形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞)	～んです Vる・られる・できる Vながら、～ ～し、～し
13	自動詞・他動詞	Vている・Vてある(結果の存続) Vておく(準備・放置・措置)・Vてしまう(残念)
14	動詞文(意向形) 推量表現	Vうと思っています・Vつもりです ～でしょう・かもしれません
15	動詞文(命令形・禁止形) 文の接続2	Vろ・Vな Vとおりに Vあとで Vないで、～ 「ば」「なら」

回	テ ー マ	内 容		
16	目標 動詞文（受身形） 形式名詞「の」	Vように Vれる・られる 「の」		
17	文の接続3 授受	Vて・Nで（理由） 「ので」 Vてくださる・Vていただく		
18	目的 様態 逆接	Vために VNそうです・そうに・そうな 「のに」		
19	伝聞 動詞文（使役形・使役受身形）	Vそうです Vせる・させる		
20	敬語	尊敬語・謙讓語・丁寧語		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『みんなの日本語Ⅰ』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語Ⅱ』（スリーエーネットワーク）		文型文法	100.0%	わからない言葉は家で調べておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
読解Ⅱ		日本語学科 1年/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(40時間)	必須	村上 昭範

授業の概要

本科目では、基本的なN3文型の学習に合わせ、既習した文型や語彙を用いた文を読んで理解する。また、リライトされた文学作品に触れる。

授業終了時の到達目標

財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N3合格をめざす。

回	テーマ	内容
1	Eメールや電話で頼む	読解「今度ぜひおしえていただけませんか」
2	理由を言って、許可を求める	読解「今日は早く帰らせていただけませんか」
3	お礼の言葉や感謝の気持ちを言う	読解「鈴木選手のおかげで、たくさん目標ができました」
4	理由を言って、上手に断る	読解「『コーヒー、二つアイス』になっていたものですか」
5	情報を整理して、説明する	読解「湖や海もあれば、高い山もたくさんあります」
6	今の状況や状態について説明する	読解「『ドーン』という音がして、家がゆれ始めました」
7	聞いた話をきちんと伝える	読解「男性より女性のほうがたくさん買いに来たことです」
8	内容や事情を説明しながら、勧めたり誘ったりする	読解「テストがあるたびにあわてて勉強をします」
9	自然に会話を進める	読解「ビールというと、ドイツをはじめ、ヨーロッパが有名です」
10	人物について、描写、説明する	読解「私はよく男っぽい性格だと言われます」
11	必要な情報を的確に理解する	読解「定員になり次第、しめきらせていただきます」
12	自分の立場を決定して、意見を言う	読解「同じ国の友達をたくさん作ったほうがいいと思います」
13	物事の価値をそれぞれの立場で表現する	読解「私にとって最高の出会いは、マイケル先生に会ったことでした」
14	問題に対してアドバイスする	読解「おじいさんを安心させたほうがいいと思います」
15	予測の表現を理解し、予報の中の時間帯などを聞き取る	読解「今日午後3時現在、中部地方を通過中です」

回	テ ー マ	内 容		
16	時間と変化を表す表現を理解する	読解「町の様子は、時代とともに変わっていきます」		
17	その時の状況を説明する	読解「警察官は私の言葉を聞いたとたん、にっこりと笑いました」		
18	時間の表現を使って、物事の変化について説明する	読解「インターネットを一週間にどのぐらい使いますか」		
19	判断、評価の基準となるものを理解する	読解「国籍と学習者のニーズに応じてクラス分けをします」		
20	動作が終わったことを強調して、表現する	読解「最初のリハビリをやりぬくことができました」		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『学ぼう！にほんご 初中級』専門教育出版		読解	100.0%	わからない言葉は家で調べておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文章表現Ⅱ		日本語学科 1年/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(40時間)	必須	業天 規根子

授業の概要

本科目では、N3文型を中心に、モデル文を見ながら、自分のことについて記述できる能力を養成する。

授業終了時の到達目標

日本語のN3文型や語彙、表現を用いて、自分のことについて記述できるようになる。

回	テーマ	内容
1	Eメールや電話で頼む	テーマ「お世話になった日本語学校の先生に依頼のメールを出す」
2	理由を言って、許可を求める	テーマ「許可を求める手紙を書く」
3	お礼の言葉や感謝の気持ちを言う	テーマ「お礼の手紙を書く」
4	理由を言って、上手に断る	テーマ「はがきでパーティー欠席の連絡をする」
5	情報を整理して、説明する	テーマ「行きたい国、好きな国について調べる」
6	今の状況や状態について説明する	テーマ「身の回りの様子を紹介する」
7	聞いた話をきちんと伝える	テーマ「最近のニュース」
8	内容や事情を説明しながら、勧めたり誘ったりする	テーマ「卒業旅行に誘うメール」
9	自然に会話を進める	テーマ「宣伝—私が好きなもの」
10	人物について、描写、説明する	テーマ「自己紹介・自己PR」
11	必要な情報を的確に理解する	テーマ「お知らせ文」
12	自分の立場を決定して、意見を言う	テーマ「私の意見」
13	物事の価値をそれぞれの立場で表現する	テーマ「私の大切なもの」
14	問題に対してアドバイスする	テーマ「勉強方法をアドバイスする」
15	予測の表現を理解し、予報の中の時間帯などを聞き取る	テーマ「将来を予測する」

回	テ ー マ	内 容		
16	時間と変化を表す表現を理解する	テーマ「プロフィール」		
17	その時の状況を説明する	テーマ「私の失敗談」		
18	時間の表現を使って、物事の変化について説明する	テーマ「私の国の最近の話題」		
19	判断、評価の基準となるものを理解する	テーマ「映画の宣伝文」		
20	動作が終わったことを強調して、表現する	テーマ「理解しがたい他の人の行動」		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	『学ぼう！にほんご 初中級』 専門教育出版	文章表現	100.0%	わからない言葉は家で調べておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
口頭表現Ⅱ		日本語学科 1年/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)		担当教員
50分	20回	0単位(60時間)	必須	清水 早智

授業の概要

本科目では、日常生活の中で出会う場面を中心とした会話能力を養成する。

授業終了時の到達目標

日本語のN3文型や表現を用いて、日常生活でよく出会う場面のやりとりができるようになる。

回	テーマ	内容
1	Eメールや電話で頼む	『学ぼう! にほんご 初中級』 1課を中心とした会話
2	理由を言って、許可を求める	『学ぼう! にほんご 初中級』 2課を中心とした会話
3	お礼の言葉や感謝の気持ちを言う	『学ぼう! にほんご 初中級』 3課を中心とした会話
4	理由を言って、上手に断る	『学ぼう! にほんご 初中級』 4課を中心とした会話
5	情報を整理して、説明する	『学ぼう! にほんご 初中級』 5課を中心とした会話
6	今の状況や状態について説明する	『学ぼう! にほんご 初中級』 6課を中心とした会話
7	聞いた話をきちんと伝える	『学ぼう! にほんご 初中級』 7課を中心とした会話
8	内容や事情を説明しながら、勧めたり誘ったりする	『学ぼう! にほんご 初中級』 8課を中心とした会話
9	自然に会話を進める	『学ぼう! にほんご 初中級』 9課を中心とした会話
10	人物について、描写、説明する	『学ぼう! にほんご 初中級』 10課を中心とした会話
11	必要な情報を的確に理解する	『学ぼう! にほんご 初中級』 11課を中心とした会話
12	自分の立場を決定して、意見を言う	『学ぼう! にほんご 初中級』 12課を中心とした会話
13	物事の価値をそれぞれの立場で表現する	『学ぼう! にほんご 初中級』 13課を中心とした会話
14	問題に対してアドバイスする	『学ぼう! にほんご 初中級』 14課を中心とした会話
15	予測の表現を理解し、予報の中の時間帯などを聞き取る	『学ぼう! にほんご 初中級』 15課を中心とした会話

回	テ ー マ	内 容		
16	時間と変化を表す表現を理解する	『学ぼう！にほんご 初中級』16課を中心とした会話		
17	その時の状況を説明する	『学ぼう！にほんご 初中級』17課を中心とした会話		
18	時間の表現を使って、物事の変化について説明する	『学ぼう！にほんご 初中級』18課を中心とした会話		
19	判断、評価の基準となるものを理解する	『学ぼう！にほんご 初中級』19課を中心とした会話		
20	動作が終わったことを強調して、表現する	『学ぼう！にほんご 初中級』20課を中心とした会話		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『学ぼう！にほんご 初中級』 専門教育出版		口頭表現	100.0%	わからない言葉は家で調べておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文字語彙Ⅱ		日本語学科 1年/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(80時間)	必須	清水 早智

授業の概要

本科目では、N3レベルで必要となる漢字約800字を学習する。また、基本文型の学習に合わせ、日常会話で使用頻度の高い語彙約4000語を習得する。

授業終了時の到達目標

基礎的な漢字約800字の読み書きができるようになる。
財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N3合格をめざす。

回	テーマ	内容
1	Eメールや電話で頼む	『学ぼう! にほんご 初中級』 1課を中心とした語彙・漢字
2	理由を言って、許可を求める	『学ぼう! にほんご 初中級』 2課を中心とした語彙・漢字
3	お礼の言葉や感謝の気持ちを言う	『学ぼう! にほんご 初中級』 3課を中心とした語彙・漢字
4	理由を言って、上手に断る	『学ぼう! にほんご 初中級』 4課を中心とした語彙・漢字
5	情報を整理して、説明する	『学ぼう! にほんご 初中級』 5課を中心とした語彙・漢字
6	今の状況や状態について説明する	『学ぼう! にほんご 初中級』 6課を中心とした語彙・漢字
7	聞いた話をきちんと伝える	『学ぼう! にほんご 初中級』 7課を中心とした語彙・漢字
8	内容や事情を説明しながら、勧めたり誘ったりする	『学ぼう! にほんご 初中級』 8課を中心とした語彙・漢字
9	自然に会話を進める	『学ぼう! にほんご 初中級』 9課を中心とした語彙・漢字
10	人物について、描写、説明する	『学ぼう! にほんご 初中級』 10課を中心とした語彙・漢字
11	必要な情報を的確に理解する	『学ぼう! にほんご 初中級』 11課を中心とした語彙・漢字
12	自分の立場を決定して、意見を言う	『学ぼう! にほんご 初中級』 12課を中心とした語彙・漢字
13	物事の価値をそれぞれの立場で表現する	『学ぼう! にほんご 初中級』 13課を中心とした語彙・漢字
14	問題に対してアドバイスする	『学ぼう! にほんご 初中級』 14課を中心とした語彙・漢字
15	予測の表現を理解し、予報の中の時間帯などを聞き取る	『学ぼう! にほんご 初中級』 15課を中心とした語彙・漢字

回	テ ー マ	内 容		
16	時間と変化を表す表現を理解する	『学ぼう！にほんご 字	初中級』16課を中心とした語彙・漢	
17	その時の状況を説明する	『学ぼう！にほんご 字	初中級』17課を中心とした語彙・漢	
18	時間の表現を使って、物事の変化について説明する	『学ぼう！にほんご 字	初中級』18課を中心とした語彙・漢	
19	判断、評価の基準となるものを理解する	『学ぼう！にほんご 字	初中級』19課を中心とした語彙・漢	
20	動作が終わったことを強調して、表現する	『学ぼう！にほんご 字	初中級』20課を中心とした語彙・漢	
教科書・教材		評価基準		評価率
『学ぼう！にほんご 版		文字・語彙		100.0%
				わからない言葉は家で調べておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
聴解Ⅱ		日本語学科 1年/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(80時間)	必須	清水 早智

授業の概要

本科目では、日常生活の中で出会う場面を中心とした会話の聞き取りを行い、聴解能力を養成する。

授業終了時の到達目標

日常生活でよく出会う場面で話される会話の内容や情報が聞き取れるようになる。
財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N3合格をめざす。

回	テーマ	内容
1	貸してもらうように頼む 貸すのを断る	貸してもらう
2	予定の変更を頼む できなくなった理由を説明する	予定を変更する
3	質問する 相手の間違いを指摘する	レストランで
4	感想を述べる うらやむ	旅行の感想
5	人に何かを勧める 相手の意見を聞いて何にするか決める 勧めを断る	買い物
6	新しい話題を始める 自分の希望を述べる	アルバイトを探す
7	ほめる ほめに応える	ほめられて
8	どちらがいいかアドバイスを求める どちらがいいかアドバイスを 条件を述べる	交通手段
9	申し出る 相手の希望をたずねる	ゆずる
10	苦情を言う 規則を説明する	マンション
11	名乗る 人を紹介する 相手について知っていることを述べ	出会い
12	これから質問をする時の前置き あるかどうか、できるかどうか、たずねる	ホテルで
13	聞いた話を切り出す 相手からの情報に反応する	うわさ
14	能力について述べる 申しでる	機械のトラブル
15	自分の失敗を他の人に伝える 悪い結果を心配していることを伝える	失敗

回	テ ー マ	内 容		
16	要件を伝える 伝言をする	電話をかける		
17	相手にいいと思うことを教える 自分の体の状態の変化について話す	健康のために		
18	情報が確かかどうかたずねる 確信はないが可能性があるという 自分の責任を回避するために和らげ ていう	駅で		
19	誘う 誘いに興味を示す 誘いにあまり興味がないことを示す	趣味		
20	抱負を述べる はげます・応援する	抱負		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『聞いて覚える話し方日本語生中継初中級 編Ⅰ』（くろしお出版） 『聞いて覚える話し方日本語生中継初中級 編Ⅱ』（くろしお出版）		聴解	100.0%	わからない言葉は 家で調べておくこ と。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文型・文法Ⅱ		日本語学科 1年/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	Ⅱ	担当教員
50分	20回	0単位(80時間)	必須	清水 早智

授業の概要

本科目では、日常的な場面で遭遇する情報や話題を理解するのに必要なN3文型を身に付ける。

授業終了時の到達目標

財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N3合格をめざす。

回	テーマ	内容
1	Eメールや電話で頼む	ところだ・について・くれませんか
2	理由を言って、許可を求める	気味・うちに・ないうちに・てもいいですか
3	お礼の言葉や感謝の気持ちを言う	おかげで・ように・てくれてありがとうございました
4	理由を言って、上手に断る	ものだから・わけにはいかない・ないわけにはいかない 最中・たくありません
5	情報を整理して、説明する	に比べて・～も…ば、～も・～も…なら、～も AよりBのほうが～
6	今の状況や状態について説明する	だらけ・かけ・～がする・～がいる・～がある
7	聞いた話をきちんと伝える	～によると・～ということだ・そうだ
8	内容や事情を説明しながら、勧めたり誘ったりする	くらい・ほど・たびに・がる・ませんか
9	自然に会話を進める	～をはじめ・というと・といえば・～なら
10	人物について、描写、説明する	っぽい・うえに・わけがない・ようだ・そうです
11	必要な情報を的確に理解する	ことになっている・ということになっている 次第・において・ことになった・になった
12	自分の立場を決定して、意見を言う	としては・としても・たとえ～ても・と思います
13	物事の価値をそれぞれの立場で表現する	にとって・に対して・さえ…ば・まい・が好きです・嫌いです
14	問題に対してアドバイスする	ことはない・しかない・かわらいに・にかわって・ほうが いい
15	予測の表現を理解し、予報の中の時間帯などを聞き取る	から～にかけて・おそれがある・がちだ・はずだ

回	テ ー マ	内 容		
16	時間と変化を表す表現を理解する	て以来・とともに・に伴って・てきた		
17	その時の状況を説明する	せいで・ばかりに・ところへ・ところに・ところを・たとたん・てしまった		
18	時間の表現を使って、物事の変化について説明する	につれて・にしがって・一方だ・くなる・になる		
19	判断、評価の基準となるものを理解する	をもとに・を中心に・に応じて・は問わず・の中で・の中から		
20	動作が終わったことを強調して、表現する	きる・ぬく・がたい・始める・終わる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『学ぼう！にほんご 初中級』 専門教育出版		文型文法	100.0%	わからない言葉は家で調べておくこと。